

第1学年〇組 道徳学習指導案

指導者 ○〇 ○〇

- 1 主題名 友達となかよく 低学年2－(3) 信頼・友情
資料名 「およげない りすさん」 (教育同人社)

2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、一人で遊ぶよりも友達といっしょに遊ぶ方が楽しく、友達と仲よく遊びたいという気持ちをもっている。また、この時期になると、家が近いとか、教室での席が近いとか、係の仕事と一緒にやっていることなどから仲よくなり、交友関係が広がってきている。しかし、反面、自分本位な考え方や行動も見られ、そのときの自分の都合や感情で遊び相手が選ばれることがある。仲の良い友達であっても、仲間はずれにしようとすることもある。

そこで、自分だけでなく、友達のことも考えることができるようになるこの時期に、本主題を取り上げ、仲間はずれにされたり、ひとりぼっちにされたときの心情を考えさせ、だれとでも仲良くし助け合おうとする気持ちを育てることは意義深いと考える。

- 本主題は、「友達と仲よくし、助け合うことができるような心情を育てる」ことを主なねらいとしている。仲良く助け合うとは、友達を大切に思い、相手の気持ちを考えて言葉を発したり、行動したりすることである。私たちは、お互いに支えたり支えられたりしながら助け合って生きている。決して一人では生きていられない存在なのである。なかでも、自分の近くにいる友達とは、より密接なつながりをもっている。しかし、近くにいるだけに摩擦も起きやすい。

そこで、互いの存在の重要性を感じ取ることや、友達を大切に助け合おうとする気持ちを育てることは意義深いと考える。

- 本資料は、泳げないりすが、池の中にある島へ一緒に遊びに行くのをあひるとかめと白鳥に断られ、ひとりぼっちに取り残されてしまうが、次の日にはかめの背中に乗せてもらい、みんなで島へ遊びに行くという話であり、仲間はずれにされたときの辛さや大切にされたときの嬉しさがわかる資料である。本時指導にあたっては、りすの気持ちに視点をあて、「泳げないから、だめ」と断られ、みんなが楽しそうに泳いで行っているのをたった一人で見ているりすや、「せなかのりなさい」と言われたときのりすに十分共感させ、その気持ちをとらえさせながら、ねらいとする価値に迫っていきたい。導入では、仲間はずれについての事前調査の結果を発表し本時のめあて「友達を大切にする心について考えよう。」へとつなぐ。展開1では、りすの心情に視点をあてて考えさせる。その際、りすの心情に十分迫ることができるように、みんなをひとりぼっちで見送る場面とかめの背中に乗って島に行く場面のさし絵を提示したり、りすの動作化をさせたりして、児童がりすになりきって気持ちを考えることができるようにする。また、仲間はずれにしたあひるとかめと白鳥の気持ちの変容にも気付かせながら、仲良くすることの大切さをわからせたい。展開2では、友達に優しくされた体験について思い出したり仲良くした作文を聞いたりして、価値を自覚できるようにする。終末では、友達に優しくされてとても嬉しかった教師の体験談を話すことによって、価値に対する意識の継続を図る。

3 本時のねらい

好き嫌いをせずに、だれに対しても仲良く助け合う態度を育てる。




- 4 本時 平成21年11月25日(水) 第5校時 第1学年〇組教室において

- 5 準備 資料「およげないりすさん」、さし絵、道徳ノート、言葉のカード、りすのお面

6 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援
導 入	<p>1 事前調査の結果を聞いたり，仲間はずれの経験を思い出したりして，本時のめあてを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 休み時間，遊びに入れてもらえなかった。 <p style="text-align: center;">— めあて —</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>ともだちを，たいせつにするところについてかんがえよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前調査の結果を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 休み時間，ひとりぼっちで寂しい思いをしたことがあるか ・ 仲間外しをされたことがあるか ・ 仲間外しをしたことがあるか
展 開 1	<p>2 資料「およげないりすさん」を読んで，りすの気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 「およげないから，だめ。」と言われてひとりでみんなを見送りりすの表情をつくりたり動作化をしたりして，りすの気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もう，あそばない。 ○ かなしい。 ○ ぼくもおよげたらよかったのに。 ○ ぼくもいっしょにいきたかった。 <p>(2) あひるとかめと白鳥で島で遊んでいる時の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しくない。 ○ りすさんが気になる。 <p>(3) かめに「ぼくのせなかにのりなさい。」と言われて，みんなといっしょに島に行っているりすの気持ちを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>かめのせなかにのりなさい。みんなといっしょに島に行っているりすさんは，どんな気持ちでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ なかまはずしされなくてよかった。 ○ みんなといっしょに遊べてうれしい。 ○ やっぱりみんなやさしい。 ○ やさしくされて，とてもうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ りすの心情に迫りやすくするために，面をつけさせる。 ○ 教師の範読を通して，資料の概要をつかませる。 ○ さし絵を提示して場面の状況を確認しながら考えさせる。 ○ ひとりぼっちで残されてしまうりすがどんな気持ちかを共感的に理解させるためにりすの動作化をさせ，りすの表情に気付かせる問いかけをする。 ○ 言葉に注目させることによって，友達のりすがいないと楽しくないことに気付かせりすに対する気持ちが変わったことについて考えさせる。 ○ りすの気持ちを共感的に理解させるために，かめの背中に乗って行くりすの動作化をさせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ りすの表情のさし絵に注目させ，りすの気持ちの変化に気付かせる。 ○ 価値の分類をしたカルテをもとに机間指導を行い，意図的指名をすることで価値に迫らせる。 (遊べる嬉しさ→友達と一緒にいる嬉しさ→友達に大切にされる嬉しさ)
展 開 2	<p>3 自分の生活を振り返り，友達からやさしくされて嬉しかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 休み時間「いっしょに遊ぼう。」と書いてくれてうれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の発表に対して，優しくされることはこんなに嬉しいことだとみんなが共感するような言葉かけをする。 ○ 日頃の日記指導をもとにして，実態を把握しておく。
終 末	<p>4 教師の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やさしくされたときの体験談 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これからの実践につなぐために，友達から優しくされた教師の体験談を話す。

7 板書計画

めあて
ともだちをたいせつにするところについてかんがえよう

およげない りすさん

ある日
あひる かめ はくちよう
しまにいくそうだん
ぼくもつれていって
りすさんはおよげないからだめ

ひとりでみんなをみおくっているりすさんのきもち

もう、あそばない。
かなしい。
ぼくも、およげたらよかったのに
ぼくも、いっしょにきました。


三人であそびました
たのしくない
りすさんがきになる

つぎの日
みんなといっしょにしまにいつているりすさんのきもち
きのうはごめんね
りすさんもういっしょにいこうね。
ぼくのせなかにのって。

なかまはずしされなくてよかった。
みんなといっしょに、あそべてうれしい。
やっぱり、みんなやさしい。
やさしくされて、とてもうれしい。

自分のことをふりかえって

8 道徳ノート



めあて
ともだちを、たいせつにするところについて、かんがえよう

どうとくノート
1年
くみ

一 かめさんのせなかにのって、みんなといっしょにしまにいつているりすさんは、どんなきもちでしょう。